

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 事業所番号, 法人名) and Value (e.g., 4091601205, 株式会社さくら苑).

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

Table with 2 columns: Field Name (基本情報リンク先) and Value (URL).

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 評価機関名, 所在地) and Value (e.g., 公益社団法人福岡県介護福祉士会).

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、久留米市内でも単独の高齢者世帯が多い地域に開設し7年となります。職員は当苑の介護理念をモットーに入居者様に生活支援を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Blank box for external evaluation comments.

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: Item No., Item Description, Achievement Results (self-check), and Achievement Results (evaluation). Rows 58-64.

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	暖かい家庭的な雰囲気の中でご利用者の尊厳を大切にしつつ、共に暮らしながら心からのケアに努めます。ご家族や地域との交流の中にも安心と安らぎのあるホームを目指します。との法人の介護理念をフロア毎の朝礼時に全員で唱和し、一人一人が利用者様主体のケアを継続すること		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天気の良い日には散歩に出かけ、地域の方との挨拶を行っている。校区の夏祭りなどへの参加等を行い、地域との交流を行っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	包括支援センター開催の認知症サポーター養成講座などに参加し地域の方に対して何が出来るのか模索している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、市職員、地域の自治会、他の施設の方達の意見を頂きサービスの向上に努めている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	当法人の代表者が久留米市介護福祉サービス事業者協議会の理事長をしており、グループホームに限らず久留米市内の事業所の実情、行政としての指導力、協力関係を築けている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービスにおける禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修を行いスタッフの知識向上を行っている。日中は玄関、フロアの施錠はせず、スタッフの見守りを行っており、外に行きたいと希望される利用者にはスタッフが付き添いを行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束適正化委員会を立ち上げ、全スタッフ向けに年2回の研修を実施。又毎月の委員会時に意見交換を行い虐待防止に取り組むようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度のパンフレットを玄関に置き、誰もが手に取れるようにしている。事業所に後見人が選任されているご利用者がおられ、制度利用が必要だと思われるご利用者様には説明を行うなど支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の前の見学、ご家族様との会話を重ね納得されたうえで入居して頂いている。入居後も外出や面会時に近況報告を行い信頼関係を築くようにしている		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の中で体調などに変化があった際にはお電話で、面会時には声かけ、年に2回家族会を開き、日頃の様子をお伝えしたり、ケアプランの見直し、時にはご家族様の意向を聞き、反映するようにしている		
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回運営会議を開き、各フロアのミーティングで出た意見を管理者より、会社へ伝えている。年に一回全体会議を行い、スタッフから直接の意見も聞けるようにしている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与体系・職能給基準を明確化した上で、管理者が評価し、代表者へ申し出るシステムを構築。自己評価を含め、各職員がやりがい・向上心が持てるよう配慮している		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮し生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	採用にあたっては、国籍、性別、年齢、経験などは問わず人柄、高齢者、認知症に対する思いを重視している		
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	外部や社内の研修に参加し、報告書の提出となっている。フロアのスタッフ同士、報告書に目を通し、思いを共有するようにはしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修及び法人内研修には多くの職員が参加し、研修報告書を提出し、職員それぞれが自己の知識の向上に努めている		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	久留米市介護福祉サービス事業者協議会の総会・ボーリング大会及びその他の研修会、運営推進会議・包括との地域ケア会議などを通じ、地域の他の事業所との交流に努めている		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご利用者様がお困りな事などを傾聴し、本人様の趣味、好きな事が出来、安心して過ごして頂けるように努めている		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前からご家族様の不安な事、お困りな事を聞き要望に応えられるように努めている		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する段階で、ご利用者様、ご家族様、職員と面談し、ご意向や希望などを確認しながら必要時は訪問歯科や訪問マッサージ、訪問診療等の必要なサービスを利用出来るように対応している		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物やテーブル拭き、手すり拭き等ご利用者様にお手伝いして頂き、スタッフと一緒にやっている		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者の今の課題などについて共に考え、それぞれの意向のすり合わせを行いながら、ご利用者を支えて行ける様にご家族様との関わりを密に行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔、職場で一緒だった同僚の方や親交がある友人など、馴染みの関係が途切れないように面会などを通じて支援している		
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中の会話やレク活動、季節のイベント行事等、交流を深めて頂けるよう努めている。ご利用者様に納得して頂き、席替えを行い、トラブル等ない様努めている		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様の退居後も、相談等受けた際は対応したり、年賀状を出したり、良い関係性を続けていける様努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランの見直し時など、ご利用者様、ご家族様のご意向をお聞きし反映している。日頃の様子を観察し希望や意向を把握するように努めている		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご利用者様の生活歴等、ご本人やご家族様から情報収集し、これまでの暮らしやサービス使用の経過等把握出来るよう努めている		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のバイタル測定、様子観察を行い、記録し現状の把握に努めている。夜勤記録、申し送り、個別ノート等を活用し、職員間での情報共有を行っている		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様ご家族様等からの情報や意向を取り入れ日々の介護の課題を共有しケアプランを作成している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の変化を日々申し送りや記録にし、スタッフ間で情報を共有し様子や問題点を把握、共有に努め介護計画に反映している		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ニーズを適切に捉えられる様に、ご入居様の心身の状況について、ご家族様や主治医と日々情報交換を行いながら、必要時は病院の受診、訪問看護等のサービスの利用が受けられる様に支援している		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用できる地域資源を把握し、外出支援や散歩などを通して近所の方とも交流が持てるように支援している		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を大切にしている。ご利用者、ご家族の希望があればかかりつけ医の変更をしている。ご利用者にとって適切な医療が受けられる様に支援している		
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	苑の職員看護師がフロアごとに配置されている。また、かかりつけ医の看護師、訪問看護師とも常日頃より相談、状態の報告が可能で対応指示を受けている		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様入院時は安心して治療に専念出来るようご家族様、入院先との情報交換をしっかりと行い、情報が途切れないように努めている		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にお看取りまで行っていることを説明している。重度化や終末期になられた際に、主治医や訪問看護ステーション等と連携し、ご家族様と情報を共有しながらご意向に沿えるように出来る限りの支援に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	お一人お一人のご利用者様の主治医や看護師から予測される急変への対処方法を事前に確認し、全職員に周知している。また、フロアにマニュアルを準備しており、皆で情報を共有しながら実践力が身につくように努めている		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を行っている(1回は消防職員立会い)また、年一回は水害訓練を行い、垂直避難訓練や避難経路の確保に努めている。苑敷地内に発電設備を設置、自然災害時には停電が起こる事もあり、照明や冷暖房器具、調理器具などの電源を確保することが目的とする		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	安心され、誇りやプライバシーにも配慮した声掛けを行っている。気になる点はスタッフ同士が注意しあえる環境づくりに努めている		
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	色塗りがしたい方、歌を歌いたい方などご利用者がしたいことをして生活して頂ける様に支援している		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お部屋で休みたい方は休んで頂き、フロアで過ごしたい方はフロアで過ごして頂くなどその方が過ごしたいように過ごして頂いている		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分でその日の洋服を決められる方には自分のタンスから決めて頂き、難しい方にはスタッフが選んでいる		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話の中で一人ひとりの好みを聞いたり食べやすい大きさにするなど配慮している。又テーブル拭きお盆拭きなどお手伝いを役割を持たれるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養面に配慮し、ソフト食も取り入れその方に合った一日の食事量、食事形態、水分量をスタッフが理解し、食事の時間が楽しいものになるように支援している		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実践している。自立し歯磨き出来る方や介助が必要な方がおられる。利用者様に依拠して仕上げ磨きや口腔内の確認を行っている。義歯に関しては週一回夕食後、洗浄を行っている		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけを工夫し、排泄の失敗を減らすようにしている		
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適切な量の水分や牛乳、ヨーグルトを提供したり、運動の声かけをし、スムーズな排便が出来る様に支援している		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者の希望やタイミングには行えていないこともあるが、拒否がある場合は、無理せず声かけを行っている		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々に合わせた程よい運動を行い、部屋の空調を整えたりし、安心して良く眠れるように支援している		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師と薬剤師との連携を行い、薬の用法、用量を間違えないように説明を受け、支援を行っている。また、全てのご利用者様の処方された説明書をまとめたファイルを作成しておりいつでも確認出来るようにしている。一人ひとりの個別ノートには薬剤師より処方された薬の記入をされている。薬の変更時や頓服薬の使用時にも記入を行い、状態の変化が分かるようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者各自の思いを聞きながらフロア内の役割を担って頂く事で日々楽しく張り合いを持ち生き生きと生活出来る様に支援している		
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員と一緒に散歩や買い物の外出支援を行うようにしている。ご家族様との外出は、現在の感染状況に応じて対応するようにしている		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人のお金はトラブル防止のために事務所で預かりしている。日々の会話の中で欲しいものがある場合はご家族様に了承を得て、一緒に買い物に出かけ購入出来る様に支援している		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様のご希望があれば、ご家族に電話をする支援をしている。手紙を書くことができる入居者様は年賀状や暑中見舞いなどのやり取りを楽しまれている		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには大きな窓があり、明るく天気も感じられる。壁にはその月の壁画を飾り季節感を感じ、心地よく過ごして頂けるよう工夫している		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の心地よさを確保し、落ち着いて過ごされるように席の配置を考慮している。居室は自由に過ごされやすい空間作りに努めている		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご家族様とご利用者様が見慣れたもの、写真を置かれ安心できる空間作りに努めている。温度や湿度に気をかけ温度計を設置している		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内は利用者が快適な生活を送られるように配慮している。移動時は介助や見守りを行い安全な生活となる支援をしている		